

(13) 就実大学

① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	前期	2020年4月22日	～	2020年7月30日
	後期	2020年9月23日	～	2021年1月22日
試験期間	前期	2020年7月31日	～	2020年8月6日
	後期	2021年1月25日	～	2021年1月29日
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地:	岡山市中区西川原 1-6-1
電話:	086-271-8120

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期受付:2020年4月2日(木)～4月7日(火)
後期受付:2020年7月1日(水)～9月23日(水)

・ 履修手続

3ページのとおり、各所属大学に申し込んでください。

・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します(受入大学訪問時)。
 - 履修要覧
 - 時間割表
 - キャンパスガイド
 - 単位互換履修生証
 - アカウント通知書(e-learningシステムを使用する科目のみ)

⑤ 各科目のシラバス

各大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

・対面授業科目

対面授業				13001
古典文学研究 1			瓦井 裕子	
Study on Classic-literature 1				
2～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 『源氏物語』総合巻の読解を通して、古典文学作品を読む上での知識や技能を身につける。さらに、『源氏物語』の表現や和歌に触れ、その魅力を知るとともに、日本文化の淵源に迫る。古典文学の表現や文化の背景を知り、多角的に評価する力を修得することが求められる。</p>				
<p>【授業内容】 『源氏物語』十七番目の巻にあたる総合巻を精読する。『源氏物語』全体の中に総合巻を位置づけながら、総合巻の優れた表現や和歌をもつ場面を読解することにより、『源氏物語』への理解を養う。また、総合巻との関連で、『源氏物語』の絵画資料も取り上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス・日本文学史における『源氏物語』 2. 『源氏物語』総合巻を読む前に(1) —『源氏物語』の概要 3. 『源氏物語』総合巻を読む前に(2) —総合巻までの展開 4. 『源氏物語』総合巻の場面読解(1) — 斎宮女御の入内 5. 『源氏物語』総合巻の場面読解(2) — 冷泉帝の後宮 6. 『源氏物語』総合巻の場面読解(3) — 絵の蒐集 7. 『源氏物語』総合巻の場面読解(4) — 物語絵の優劣 8. 『源氏物語』総合巻の場面読解(5) — 総合 9. 『源氏物語』総合巻の場面読解(6) — 天徳内裏歌合との関連 10. 『源氏物語』総合巻の場面読解(7) — 総合後の情勢 11. 『源氏物語』総合巻の享受 — 絵画資料・前麗景殿女御歌総合 12. 『源氏物語』と絵画(1) — 物語を絵にすること 13. 『源氏物語』と絵画(2) — 平安時代・鎌倉時代の絵画資料 14. 『源氏物語』と絵画(3) — 室町時代・江戸時代の絵画資料 15. 全体のまとめとテスト 				
<p>【テキスト】 『源氏物語(三) 濡標—少女』(岩波文庫 2018) (ISBN:978-4003510179)</p>				
<p>【参考図書】 適宜、指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 テスト 70% / 授業態度 30% テストは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する基本的な知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。 授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。 テスト後、WebClass を通じて採点基準を配布する。</p>				

対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。</p>																				
<p>【授業内容】 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 権中納言定家</td> </tr> <tr> <td>2. 藤原定家の生涯と事蹟</td> <td>10. 従二位家隆</td> </tr> <tr> <td>3. 『百人一首』の成立</td> <td>11. 後鳥羽院</td> </tr> <tr> <td>4. 『百人一首』、古典への道</td> <td>12. 順徳院</td> </tr> <tr> <td>5. 天智天皇</td> <td>13. 秀歌を読む①</td> </tr> <tr> <td>6. 持統天皇</td> <td>14. 秀歌を読む②</td> </tr> <tr> <td>7. 柿本人麻呂</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 山辺赤人</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 権中納言定家	2. 藤原定家の生涯と事蹟	10. 従二位家隆	3. 『百人一首』の成立	11. 後鳥羽院	4. 『百人一首』、古典への道	12. 順徳院	5. 天智天皇	13. 秀歌を読む①	6. 持統天皇	14. 秀歌を読む②	7. 柿本人麻呂	15. まとめ	8. 山辺赤人	
1. 和歌とは？	9. 権中納言定家																			
2. 藤原定家の生涯と事蹟	10. 従二位家隆																			
3. 『百人一首』の成立	11. 後鳥羽院																			
4. 『百人一首』、古典への道	12. 順徳院																			
5. 天智天皇	13. 秀歌を読む①																			
6. 持統天皇	14. 秀歌を読む②																			
7. 柿本人麻呂	15. まとめ																			
8. 山辺赤人																				
<p>【テキスト】 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978404404001</p>																				
<p>【参考図書】 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 50%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 30%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。</p>																				

対面授業				13003																
古典文学研究 3			丸井 貴史																	
Study on Classic-literature 3																				
2~4年次	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 近世小説史の概略について講義する。近世期に生み出された小説は実に多彩であるが、それぞれのジャンルは独立して存在しているわけではなく、他のジャンルと密接に結びついている。本講義では、ジャンルごとの類似点と相違点を意識しつつ、そもそも「ジャンル」とは何かという問題を考えてみたい。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 イン트로ダクション</td> <td>9 『雨月物語』の到達点</td> </tr> <tr> <td>2 中世物語から近世小説へ</td> <td>10 学問と創作のあいだ</td> </tr> <tr> <td>3 仮名草子とは何か</td> <td>11 上方から江戸へ</td> </tr> <tr> <td>4 浮世草子の発生</td> <td>12 京伝と馬琴</td> </tr> <tr> <td>5 井原西鶴の小説</td> <td>13 戯作とは何か</td> </tr> <tr> <td>6 白話小説の受容と初期読本の成立</td> <td>14 草双紙の展開</td> </tr> <tr> <td>7 都賀庭鐘の創作手法</td> <td>15 近世小説の文体</td> </tr> <tr> <td>8 庭鐘から秋成へ</td> <td></td> </tr> </table>					1 イン트로ダクション	9 『雨月物語』の到達点	2 中世物語から近世小説へ	10 学問と創作のあいだ	3 仮名草子とは何か	11 上方から江戸へ	4 浮世草子の発生	12 京伝と馬琴	5 井原西鶴の小説	13 戯作とは何か	6 白話小説の受容と初期読本の成立	14 草双紙の展開	7 都賀庭鐘の創作手法	15 近世小説の文体	8 庭鐘から秋成へ	
1 イン트로ダクション	9 『雨月物語』の到達点																			
2 中世物語から近世小説へ	10 学問と創作のあいだ																			
3 仮名草子とは何か	11 上方から江戸へ																			
4 浮世草子の発生	12 京伝と馬琴																			
5 井原西鶴の小説	13 戯作とは何か																			
6 白話小説の受容と初期読本の成立	14 草双紙の展開																			
7 都賀庭鐘の創作手法	15 近世小説の文体																			
8 庭鐘から秋成へ																				
【テキスト】 プリントを配布する。																				
【参考図書】 授業内で指示する。																				
【成績評価の方法】 中間レポート:30% 期末レポート:70%																				

対面授業				13004																
近現代文学講義 3			坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 差異をめぐる批評理論の概説と、具体的な作品分析を行う。これらの作業を通じ、文学作品を理論的に読む力を身につけることが目標である。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)</td> <td>9 樋口一葉「にごりえ」を読む②</td> </tr> <tr> <td>2 構造主義／脱構築について①</td> <td>10 ポストコロニアル批評について①</td> </tr> <tr> <td>3 構造主義／脱構築について②</td> <td>11 ポストコロニアル批評について②</td> </tr> <tr> <td>4 構造主義／脱構築について③</td> <td>12 ポストコロニアル批評について③</td> </tr> <tr> <td>5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①</td> <td>13 王昶雄「奔流」を読む①</td> </tr> <tr> <td>6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②</td> <td>14 王昶雄「奔流」を読む②</td> </tr> <tr> <td>7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 樋口一葉「にごりえ」を読む①</td> <td></td> </tr> </table>					1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②	2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①	3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②	4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③	5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①	6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②	7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ	8 樋口一葉「にごりえ」を読む①	
1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②																			
2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①																			
3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②																			
4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③																			
5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①																			
6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②																			
7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ																			
8 樋口一葉「にごりえ」を読む①																				
<p>【テキスト】 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																				
<p>【参考図書】 ジョナサン・カラー『文学理論』(荒木映子・富山太佳夫訳、岩波書店、2003年) 廣野由美子『批評理論入門』(中公新書、2005年)</p>																				
<p>【成績評価の方法】 課題作品についての小レポート(25%×2回)、期末試験(50%)により総合的に判断する。</p>																				

対面授業				13005
異文化理解と交流 1A			ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.				
【授業内容】 Introduction/American Culture Native Americans African Americans Native Americans African Americans Native Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans Native Americans Review/Essay Due				
【テキスト】 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%				

対面授業				13006																
異文化理解と交流1B			J. スコット																	
Understanding Other Cultures – Australia																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】 Students will increase their understanding of Australia by focusing on 3 main themes: Aboriginal Australia, Multicultural Australia, including the Australia–Japan relationship, and Australian lifestyle and popular culture.																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 Course overview, introduction</td> <td>9 Lifestyle & Popular Culture: Sport</td> </tr> <tr> <td>2 Aboriginal Australia: Before European Settlement</td> <td>10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment</td> </tr> <tr> <td>3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects</td> <td>11 Aboriginal Australia: The Stolen Generations</td> </tr> <tr> <td>4 Multicultural Australia: Early Immigration</td> <td>12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'</td> </tr> <tr> <td>5 Multicultural Australia: Post-war Immigration</td> <td>13 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art</td> </tr> <tr> <td>6 Multicultural Australia: Australia and Japan</td> <td>14 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian?</td> </tr> <tr> <td>7 Multicultural Australia: Australia Now</td> <td>15 Review</td> </tr> <tr> <td>8 Lifestyle & Popular Culture: Education</td> <td>16 Report deadline</td> </tr> </table>					1 Course overview, introduction	9 Lifestyle & Popular Culture: Sport	2 Aboriginal Australia: Before European Settlement	10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment	3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects	11 Aboriginal Australia: The Stolen Generations	4 Multicultural Australia: Early Immigration	12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'	5 Multicultural Australia: Post-war Immigration	13 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art	6 Multicultural Australia: Australia and Japan	14 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian?	7 Multicultural Australia: Australia Now	15 Review	8 Lifestyle & Popular Culture: Education	16 Report deadline
1 Course overview, introduction	9 Lifestyle & Popular Culture: Sport																			
2 Aboriginal Australia: Before European Settlement	10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment																			
3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects	11 Aboriginal Australia: The Stolen Generations																			
4 Multicultural Australia: Early Immigration	12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'																			
5 Multicultural Australia: Post-war Immigration	13 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art																			
6 Multicultural Australia: Australia and Japan	14 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian?																			
7 Multicultural Australia: Australia Now	15 Review																			
8 Lifestyle & Popular Culture: Education	16 Report deadline																			
【テキスト】 No text – Class handouts will be supplied																				
【参考図書】 もっと知りたいオーストラリア Tell Me About Australia http://australiamanabo.com/pdf/TellMeAboutAust-compressed.pdf Australia in Brief 日本語版 http://japan.embassy.gov.au/files/kyo/australia_in_brief_2014.pdf Australia in Brief 英語版 http://dfat.gov.au/about-us/publications/Documents/australia-in-brief.pdf																				
【成績評価の方法】 Weekly quizzes: 50%, Written reports: (25% + 25%) 50%																				

対面授業				13007		
異文化理解と交流2A			J.コックス			
New Zealand Studies						
3～4年次	2単位	後期	1コマ			
【授業の目的】 Students will learn about New Zealand culture and history. Students will be able to compare and contrast New Zealand and Japan, to improve inter-cultural understanding.						
【授業内容】 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. Introduction 2. History 1 – Pre-History, Maori and European discovery and settlement 3. History 2 – Maori/Pakeha relations, Welfare State, Changing allies 4. Animals – Effect of geography and human settlement on species 5. Maori Culture – Art, Architecture, Customs, Effect of European contact 6. Sports – Attitudes to sport and exercise, Cultural identity 7. New Zealand English – Differences from Australian and American English 8. Famous Events – Natural and man-made disasters, Significant events </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 9. Life in New Zealand 1 – Environment, Home life, Education 10. Life in New Zealand 2 – Social problems 11. Tourism – South Island – Nature, Contribution to economy 12. Tourism – North Island – Adventure tourism 13. Movies 1 – Maori myths, NZ culture and language in film 14. Movies 2 – Modern versus traditional Maori life, Gender in Maori society 15. New Zealand Icons – Pop culture, View from abroad </td> </tr> </table>					1. Introduction 2. History 1 – Pre-History, Maori and European discovery and settlement 3. History 2 – Maori/Pakeha relations, Welfare State, Changing allies 4. Animals – Effect of geography and human settlement on species 5. Maori Culture – Art, Architecture, Customs, Effect of European contact 6. Sports – Attitudes to sport and exercise, Cultural identity 7. New Zealand English – Differences from Australian and American English 8. Famous Events – Natural and man-made disasters, Significant events	9. Life in New Zealand 1 – Environment, Home life, Education 10. Life in New Zealand 2 – Social problems 11. Tourism – South Island – Nature, Contribution to economy 12. Tourism – North Island – Adventure tourism 13. Movies 1 – Maori myths, NZ culture and language in film 14. Movies 2 – Modern versus traditional Maori life, Gender in Maori society 15. New Zealand Icons – Pop culture, View from abroad
1. Introduction 2. History 1 – Pre-History, Maori and European discovery and settlement 3. History 2 – Maori/Pakeha relations, Welfare State, Changing allies 4. Animals – Effect of geography and human settlement on species 5. Maori Culture – Art, Architecture, Customs, Effect of European contact 6. Sports – Attitudes to sport and exercise, Cultural identity 7. New Zealand English – Differences from Australian and American English 8. Famous Events – Natural and man-made disasters, Significant events	9. Life in New Zealand 1 – Environment, Home life, Education 10. Life in New Zealand 2 – Social problems 11. Tourism – South Island – Nature, Contribution to economy 12. Tourism – North Island – Adventure tourism 13. Movies 1 – Maori myths, NZ culture and language in film 14. Movies 2 – Modern versus traditional Maori life, Gender in Maori society 15. New Zealand Icons – Pop culture, View from abroad					
【テキスト】 No textbook. Material will be provided by the teacher.						
【参考図書】 Jan Thorburn, A New Zealand Adventure, Pearson, 9781405882774. Australia and New Zealand, Christine Lindop, Oxford, 9780194233903. The New Zealand File, Richard MacAndrew, Cambridge, 9780521136242. New Zealand, Margaret Johnson, Cambridge, 9780521149020.						
【成績評価の方法】 Participation (20%), class quizzes (50%), final test (30%)						

対面授業				13008
異文化理解と交流2B				D.マカントニー
UK and Ireland Studies				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.				
【授業内容】 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Review				
【テキスト】 Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5				
【参考図書】 English Dictionary and Japanese-English Dictionary				
【成績評価の方法】 Class Participation 20% Review/Homework 30% Study Notes 10% Written Tests 40%				

対面授業				13009
イギリス文化研究 1			雨森 未来	
British Cultural Studies 1				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p>【授業内容】受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. エリザベス朝のイングランドと演劇の文化 3. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 悲劇とギリシャ・ローマの古典文学の影響 4. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② 歴史劇と材源 5. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界③ 喜劇と身分制度 6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界④ ロマンス劇と演劇史 7. イギリス文学とキリスト教 8. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界⑤ 悲劇 9. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界⑥ ローマ史劇 10. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界⑦ 喜劇 11. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界⑧ ロマンス劇 12. 批評理論① オリエンタリズム 13. 批評理論② ポスト・コロニアリズム 14. 批評理論③ ジェンダー、フェミニズム 15. T.S.エリオットとシェイクスピア批評 				
<p>【テキスト】 なし。適宜、プリントや資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 適宜、指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 定期試験 50%、提出課題 20%、発表 20%、授業への積極的な参加 10% 以上から総合的に評価する。</p>				

対面授業				13010
イギリス文化研究2			渡辺 浩	
British Cultural Studies 2				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 このコースにおいては、英国の著名な建物・建築物を取り上げ、その歴史に基づいて英国文化と歴史を考察してゆきます。「ランドマーク」という言葉が最近日本語の中でも使われますが、まさしく陸標、目標物は歴史の中でも文化的な指標となるものが数多く存在します。				
【授業内容】 1Introduction 2Stonehenge 3Hadrian's Wall 4Caernarfon Castle 5Canterbury Cathedral 6Tudor Houses 7Country Houses 8Derwent Valley Mills 9Terraced Houses 10Manchester Town Hall 11The Fourth Bridge 12Brighton Pier 13Liverpool Docks 14The South Bank 15The Channel Tunnel				
【テキスト】 ブリティッシュ・ビルディングス、英宝社（2000円＋税） ISBN 978-4-269-15019-5				
【参考図書】 参考資料・図書はその都度指示する予定。				
【成績評価の方法】 授業中に実施するテストと評価に関連した提出物 70%、毎回の授業に関する取り組みと習熟度 30%				

対面授業				13011																
イギリス文化研究 3				和栗 了																
British Cultural Studies 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 英語圏を代表する詩人であり、世界的劇作家、ウィリアム・シェイクスピア(William Shakespeare) の作品と同時代の劇作家、およびエリザベス朝のイングランドについて講義し、イギリス文化のひとつの心髄を提示するのが目的です。 毎回シェイクスピアの作品をひとつずつ取り上げ、そのテーマと問題点を指摘し、それがどのような意味を持つかを講義します。 シェイクスピアの作品の理解を通じて、受講生がイングランドとヨーロッパ文化に関してひとつの視座を獲得すること、そして人間そのものに関するひとつの見方を獲得するのが到達目標です。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入・William Shakespeare と Elizabeth 朝とは？</td> <td>9. 歴史劇の演習3</td> </tr> <tr> <td>2. 喜劇の演習1</td> <td>10. 悲劇の演習1</td> </tr> <tr> <td>3. 喜劇の演習2</td> <td>11. 悲劇の演習2</td> </tr> <tr> <td>4. 喜劇の演習3</td> <td>12. 悲劇の演習3</td> </tr> <tr> <td>5. 問題劇の演習1</td> <td>13. 悲劇の演習4</td> </tr> <tr> <td>6. 問題劇の演習2</td> <td>14. 詩の演習</td> </tr> <tr> <td>7. 歴史劇の演習1</td> <td>15. 学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 歴史劇の演習2</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入・William Shakespeare と Elizabeth 朝とは？	9. 歴史劇の演習3	2. 喜劇の演習1	10. 悲劇の演習1	3. 喜劇の演習2	11. 悲劇の演習2	4. 喜劇の演習3	12. 悲劇の演習3	5. 問題劇の演習1	13. 悲劇の演習4	6. 問題劇の演習2	14. 詩の演習	7. 歴史劇の演習1	15. 学生との議論	8. 歴史劇の演習2	
1. 導入・William Shakespeare と Elizabeth 朝とは？	9. 歴史劇の演習3																			
2. 喜劇の演習1	10. 悲劇の演習1																			
3. 喜劇の演習2	11. 悲劇の演習2																			
4. 喜劇の演習3	12. 悲劇の演習3																			
5. 問題劇の演習1	13. 悲劇の演習4																			
6. 問題劇の演習2	14. 詩の演習																			
7. 歴史劇の演習1	15. 学生との議論																			
8. 歴史劇の演習2																				
<p>【テキスト】 自作プリントを使用する。</p>																				
<p>【参考図書】 授業中に指示します。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小テスト(50パーセント)+毎回のレポート(20パーセント)+毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13012																
アメリカ文化研究1			長瀬 恵美																	
American Studies 1																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 本科目は専門教育科目のコース別選択科目に属している。アメリカの特殊な建国の歴史、多民族国家であることから生じる様々な問題を通して、ディプロマポリシーの「各言語圏の人々を取り巻く社会・文化・思想・価値観を理解」することができるようになる。また、「英語関連療育の専門的・学際的研究を通して、グローバル化の進む諸領域の実態を論理的把握し、批判的に考察することで、そこに内在する問題を提起し、それに対する解決策を提案する」ことができるようになる。</p>																				
<p>【授業内容】ヨーロッパ人がアメリカ大陸を「発見する」前からこの大陸の住人だった Native American はどこからやってきたのか、やがて英国からの植民地人によって支配され、英国から独立し、建国されたアメリカは、どのような理念を持って成立したのか、またどのような人々によって発展を遂げてきたのか、その結果、どのような文化がはぐくまれ、どのような社会問題が起こってきたのかについて知る。毎回の授業でリアクションペーパーを提出し、WebClass での復習の資料とするので、それによって授業内容を復習することができる。</p>																				
<table border="0"> <tr> <td>1. Introduction What do you know about America? How do you know about America?</td> <td>9. All Men Are Created Equal (2) The Divided House</td> </tr> <tr> <td>2. The American Dream (1) History is made of dreams</td> <td>10. All Men Are Created Equal (3) What is Black, White, Red and Yellow?</td> </tr> <tr> <td>3. The American Dream (2) Dreams of Hope</td> <td>11. All Men Are Created Equal (4) Racism: A Rising Risk?</td> </tr> <tr> <td>4. The American Dream (3) American's Identity Crisis</td> <td>12. The American Wonder Woman (1) Women of Courage</td> </tr> <tr> <td>5. The Land of Plenty (1) The tradition of Waste</td> <td>13. The American Wonder Woman (2) The Struggle of Equality</td> </tr> <tr> <td>6. The Land of Plenty (2) The Myth of Multiculturalism</td> <td>14. The American Wonder Woman (3) The Decline of the Family</td> </tr> <tr> <td>7. The Land of Plenty (3) The Closing of the frontier of Opportunity</td> <td>15. The American Wonder Woman (4) Wonder Woman: Can She Really Do Everything?</td> </tr> <tr> <td>8. All Men Are Created Equal (1) Liberty or Death</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction What do you know about America? How do you know about America?	9. All Men Are Created Equal (2) The Divided House	2. The American Dream (1) History is made of dreams	10. All Men Are Created Equal (3) What is Black, White, Red and Yellow?	3. The American Dream (2) Dreams of Hope	11. All Men Are Created Equal (4) Racism: A Rising Risk?	4. The American Dream (3) American's Identity Crisis	12. The American Wonder Woman (1) Women of Courage	5. The Land of Plenty (1) The tradition of Waste	13. The American Wonder Woman (2) The Struggle of Equality	6. The Land of Plenty (2) The Myth of Multiculturalism	14. The American Wonder Woman (3) The Decline of the Family	7. The Land of Plenty (3) The Closing of the frontier of Opportunity	15. The American Wonder Woman (4) Wonder Woman: Can She Really Do Everything?	8. All Men Are Created Equal (1) Liberty or Death	
1. Introduction What do you know about America? How do you know about America?	9. All Men Are Created Equal (2) The Divided House																			
2. The American Dream (1) History is made of dreams	10. All Men Are Created Equal (3) What is Black, White, Red and Yellow?																			
3. The American Dream (2) Dreams of Hope	11. All Men Are Created Equal (4) Racism: A Rising Risk?																			
4. The American Dream (3) American's Identity Crisis	12. The American Wonder Woman (1) Women of Courage																			
5. The Land of Plenty (1) The tradition of Waste	13. The American Wonder Woman (2) The Struggle of Equality																			
6. The Land of Plenty (2) The Myth of Multiculturalism	14. The American Wonder Woman (3) The Decline of the Family																			
7. The Land of Plenty (3) The Closing of the frontier of Opportunity	15. The American Wonder Woman (4) Wonder Woman: Can She Really Do Everything?																			
8. All Men Are Created Equal (1) Liberty or Death																				
<p>【テキスト】 Joan McConnell, Understanding the United States (Kinseido) ISBN 978-4-7647-0571-5</p>																				
<p>【参考図書】 猿谷要『物語アメリカの歴史』(中公新書) 亀井俊介『アメリカ文化と日本』(岩波書店) 亀井俊介編『アメリカ文化事典』(研究社出版)”</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への参加度(20%)小テスト(30%)定期テスト(50%)で評価する。 アメリカ建国の特殊な歴史、多民族国家であることによる引き起こされている問題を適切に理解しているかどうか、小テスト、前期末の試験により評価する。</p>																				

対面授業				13013																
アメリカ文化研究2			長瀬 恵美																	
American Studies 2																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 アメリカが合衆国になる前の「新大陸」には誰が住んでいたのでしょうか。また建国から現在の超大国になるまで、なぜこの国は世界中をひきつけて止まなかったのか、各時代の言葉の芸術「文学」と結びつけて探っていきます。</p>																				
<p>【授業内容】ヨーロッパ人がアメリカ大陸を「発見する」前からこの大陸の住人だった Native American はどこからやってきたのか、やがてヨーロッパ人によって支配され、アメリカとなったこの国はどのように目覚ましい発展をとげていくのか、その発展を「言葉」の側面からも見ることによって、より重層的にアメリカを理解することにつなげていきます。</p>																				
<table border="0"> <tr> <td>1. "Introduction" What have you learned about America?</td> <td>9. The Crisis of American Education The Legacy of the Sixties</td> </tr> <tr> <td>2. The American Work Ethic (1) Birth of an Economic Giant</td> <td>10. The Crisis of American Education The Myth of Multiculturalism</td> </tr> <tr> <td>3. The American Work Ethic (2) The American Work Ethic</td> <td>11. America's Place in the World (1) Isolationism versus Internationalism</td> </tr> <tr> <td>4. The American Work Ethic (3) The Greed of the Eighties</td> <td>12. America's Place in the World (2) The Collapse of Communism</td> </tr> <tr> <td>5. America's Cemetery Jungles (1) A City: A World of Extremes</td> <td>13. America's Place in the World (3) The Ugly Americans</td> </tr> <tr> <td>6. America's Cemetery Jungles (2) Out of Control</td> <td>14. America's Place in the World (1) The Rise and Fall of Great Empires</td> </tr> <tr> <td>7. America's Cemetery Jungles (3) Can American Cities be Saved?</td> <td>15. Has the American Dream Disappeared? Visions of History</td> </tr> <tr> <td>8. The Crisis of American Education Education: The Frontier of Opportunity</td> <td></td> </tr> </table>					1. "Introduction" What have you learned about America?	9. The Crisis of American Education The Legacy of the Sixties	2. The American Work Ethic (1) Birth of an Economic Giant	10. The Crisis of American Education The Myth of Multiculturalism	3. The American Work Ethic (2) The American Work Ethic	11. America's Place in the World (1) Isolationism versus Internationalism	4. The American Work Ethic (3) The Greed of the Eighties	12. America's Place in the World (2) The Collapse of Communism	5. America's Cemetery Jungles (1) A City: A World of Extremes	13. America's Place in the World (3) The Ugly Americans	6. America's Cemetery Jungles (2) Out of Control	14. America's Place in the World (1) The Rise and Fall of Great Empires	7. America's Cemetery Jungles (3) Can American Cities be Saved?	15. Has the American Dream Disappeared? Visions of History	8. The Crisis of American Education Education: The Frontier of Opportunity	
1. "Introduction" What have you learned about America?	9. The Crisis of American Education The Legacy of the Sixties																			
2. The American Work Ethic (1) Birth of an Economic Giant	10. The Crisis of American Education The Myth of Multiculturalism																			
3. The American Work Ethic (2) The American Work Ethic	11. America's Place in the World (1) Isolationism versus Internationalism																			
4. The American Work Ethic (3) The Greed of the Eighties	12. America's Place in the World (2) The Collapse of Communism																			
5. America's Cemetery Jungles (1) A City: A World of Extremes	13. America's Place in the World (3) The Ugly Americans																			
6. America's Cemetery Jungles (2) Out of Control	14. America's Place in the World (1) The Rise and Fall of Great Empires																			
7. America's Cemetery Jungles (3) Can American Cities be Saved?	15. Has the American Dream Disappeared? Visions of History																			
8. The Crisis of American Education Education: The Frontier of Opportunity																				
<p>【テキスト】 Joan McConnell, Understanding the United States (Kinseido) ISBN 978-4-7647-0471-5</p>																				
<p>【参考図書】 “猿谷要『物語アメリカの歴史』(中公新書) 亀井俊介『アメリカ文化と日本』(岩波書店) 亀井俊介編『アメリカ文化事典』(研究社出版)”</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への参加度(20%)小テスト(30%)定期テスト(50%)</p>																				

対面授業				13014																
アメリカ文化研究 3				和栗 了																
American Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 アメリカ合衆国の文学を代表するマーク・トウェイン(Mark Twain)の、人とその作品について講義します。アメリカとは何か、文学とは何かを、トウェインの作品と作家の研究を通じて明らかにします。 かつて『トム・ソーヤーの冒険』や『ハックルベリー・フィンの冒険』を読んで合衆国に憧れた方には驚かれるような内容かもしれませんが、真実のトウェインと彼の作品が意味するものをお伝えします。受講生はマーク・トウェインをひとつの手がかりにしてアメリカ合衆国を理解してください。それが目的です。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy</td> <td>9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary</td> </tr> <tr> <td>2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier</td> <td>10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?</td> </tr> <tr> <td>3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest</td> <td>11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?</td> </tr> <tr> <td>4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story</td> <td>12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!</td> </tr> <tr> <td>5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors</td> <td>13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?</td> </tr> <tr> <td>6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何がある? A Dog's Tale A Horse's Tale</td> <td>14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?</td> </tr> <tr> <td>7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"</td> <td>15. 学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy	9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary	2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier	10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?	3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest	11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?	4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story	12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!	5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors	13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?	6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何がある? A Dog's Tale A Horse's Tale	14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?	7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"	15. 学生との議論	8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara	
1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy	9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary																			
2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier	10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?																			
3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest	11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?																			
4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story	12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!																			
5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors	13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?																			
6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何がある? A Dog's Tale A Horse's Tale	14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?																			
7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"	15. 学生との議論																			
8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara																				
<p>【テキスト】 自作プリントを使います。</p>																				
<p>【参考図書】Waguri Ryo, <i>Mark Twain and Strangers</i>, Tokyo: Eihou-sha, 2004. 和栗 了監訳、『マーク・トウェイン 完全なる自伝』(第一巻、第二巻、第三巻)(東京: 柏書房、2012年、2015年、2018年)。 和栗 了、『マーク・トウェインはこう読め』(東京: 柏書房、2016年)。 和栗 了訳、『マーク・トウェイン書簡集 第一巻』(大阪: 大阪教育図書、2011年)。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小テスト(50パーセント)+毎回の小レポート(20パーセント)+毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13015																
日本史講義 2C			芥米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
【成績評価の方法】 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				

対面授業				13017																
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の再生</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p>【テキスト】 指定しない。毎回プリントを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末) レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。 レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明などを行う。</p>																				

対面授業				13018
アジア史講義 2A			井上 あえか	
History of Asia 2A				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 国際関係の中で戦争と地域紛争を歴史的に理解する視点を獲得し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになること。				
【授業内容】 1. アフガニスタンの復興と「ターリバーン化」問題 2. ターリバーンの論理(ドキュメンタリー「密着ムジャーヒディーン」) 3. アメリカの戦略とアフガニスタン 4. 帰還兵から見た戦争(ドキュメンタリー)「アフガン帰還兵―若きソビエト兵士たちの9年間」 5. 現代のイスラーム 6. パキスタンの軍・政治・イスラーム 7. インドの民主主義 8. インドの経済発展(1) 9. インドの経済発展(2) 10. 世界の核管理体制の歴史とインド・パキスタン対立 11. インド・パキスタン対立と核問題(ドキュメンタリー「揺れる核保有国インド」) 12. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(1) 13. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(2) 14. 平和学について 15. 歴史と現在の関わり				
【テキスト】 とくに指定しない。				
【参考図書】 教室で、適宜指示する。				
【成績評価の方法】 学期中に適宜実施する小テスト(40%)と、学期末に課すレポート(60%)で評価する。				

対面授業				13020
歴史遺産講義 2C			吉本 勇	
Lecture of the Cultural Heritage 2C				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 東西を代表する港町神戸と横浜を取り上げ、開港時からの都市形成から現在に至るまでの発展過程を概観するとともに、そこから誕生した都市の魅力について考察する。				
【授業内容】 1 開港時における港町の形成過程(神戸) 2 新旧外国人居留地の形成と概観(神戸) 3 現在の都市景観の特徴(神戸) 4 開港時における港町の形成(横浜) 5 新旧外国人居留地の形成と概観(横浜) 6 現存する歴史的建造物群について(横浜と神戸) 7 阪神淡路大震災時の被害と復興の様子(神戸) 8 横山光輝(三国志と鉄人 28号)、B級グル(そばめし)で地域活性化の事例(神戸) 9 旧西国街道沿いの酒蔵地帯の現況(神戸) 10 旧東海道神奈川宿の過去と現在(横浜) 11 現在の都市景観の特徴(横浜) 12 老舗商店の誕生と現在(横浜と神戸) 13 周辺都市との連携の必要性(横須賀市と鎌倉市) 14 周辺都市との連携の必要性(赤穂市とたつの市) 15 アーバンツーリズムからみる都市の魅力と課題(横浜と神戸)				
【テキスト】 無し。講義中での資料配布や資料提示。				
【参考図書】 横浜・神戸に関する図書や文献は多数刊行されているので、講義中に随時紹介する。また行政のホームページなどを参照すること。				
【成績評価の方法】 レポートと授業への取り組みによる評価				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	学生番号	学生番号			
	男・女	昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 — — — — — Tel () — — — — —				

* 履修受付締切日：前期：4月7日(火)まで 後期：9月15日(火)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20		
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20		
13003	古典文学研究 3	専門	丸井 貴史	2	後期	2~4		木 13:10~14:40		
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40		
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L.ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40		
13006	異文化理解と交流 1B	専門	J.スコット	2	前期	3~4		月 10:50~12:20		
13007	異文化理解と交流 2A	専門	J.コックス	2	後期	3~4		月 10:50~12:20		
13008	異文化理解と交流 2B	専門	D.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40		
13009	イギリス文化研究 1	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40		
13010	イギリス文化研究 2	専門	渡辺 浩	2	後期	3~4		木 13:10~14:40		
13011	イギリス文化研究 3	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 9:10~10:40		
13012	アメリカ文化研究 1	専門	長瀬 恵美	2	前期	3~4		火 10:50~12:20		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
対面授業科目										
13013	アメリカ文化研究 2	専門	長瀬 恵美	2	後期	3~4		火 10:50~12:20		
13014	アメリカ文化研究 3	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40		
13015	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 14:50~16:20		
13016	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2B	専門	櫻田 美津夫	2	後期	3~4		木 14:50~16:20		
13017	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40		
13018	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20		
13019	歴史遺産講義 1C	専門	賈 鍾壽	2	前期	3~4		水 10:50~12:20		
13020	歴史遺産講義 2C	専門	吉本 勇	2	後期	3~4		火 10:50~12:20		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	0 枚	1 枚